第 2 回上海国際博覧会日本館計画委員会 議事概要

日時: 平成 20 年 2 月 22 日(金) 9:00~10:30

場所: 日本貿易振興機構役員会議室

出席委員: (敬称略)

日本貿易振興機構理事長 林康夫(座長)

経済産業省商務情報政策局商務流通審議官 寺坂信昭

トヨタ自動車株式会社専務取締役 古橋衞

松下電器産業株式会社代表取締役副社長 佐野尚見

キヤノン株式会社(代理:渉外本部コーポレートコミュニケーション

センター所長 平澤哲男)

日本貿易振興機構参与 小平信因

(オブザーバー) 国土交通省、環境省、(財)地球産業文化研究所

議題:

① 基本計画および収支見通しについて

- ② 今後の出展準備の進め方について
- ③ 上海国際博覧会全般の準備状況について

議事概要:

○ 上記議題に関する事務局説明について以下のとおり審議し、了承された。

<基本計画および収支見通しについて>

- 今回作成された基本計画は上海国際博覧会日本出展の骨格となるため、これを踏まえ、 開幕に向け建築、展示、行催事、運営等の準備を進める。
- 建築は、上海博覧会テーマと共振する持続可能な都市型建築、環境にやさしい建築の創造を目指し、記憶に残る建築にする。基本諸元については、延床面積を 7,000 ㎡~7,500 ㎡、うち、展示空間を 4,500 ㎡程度、管理空間を 3,000 ㎡程度と想定し、建築の特徴としては建物全てを被覆する大屋根を設置する。
- 展示空間が備えるべき構造特性としては、全体を"俯瞰"できる地点から日本館全体を通して語られていく「物語」の存在を実感し、さらに、その効果を高めるために日本館全体を貫く象徴的な"軸線"を配置する。また、一瞥しただけでメッセージが実感できる"花火型"展示と、自らの意志で情報の奥へと分け入っていく"昆虫採集型"展示を組み合わせた空間構成を実現し、観客が館内で情報を"探索"・"発見"し、メッセージを空間から"体感"できるようにする。
- 行催事は、関係機関・団体、自治体、NPO、市民グループ等 "オールジャパン"による参加を目指し、また、日本館の展示やサイバーパビリオンでの情報発信との整合性や連携を考え、実施効果を高めていく。

- 広報は、世博局による博覧会全体の PR 活動や日本での上海ウィーク、その他多様な主体と密接に連携を取り、効果的な広報を行う。
- サイバーパビリオンでは、サイバー上でのアンケート結果をリアルなパビリオンにおける展示に反映するとともに、リアル展示の理解を増進するような情報をサイバー上で提供。
- 運営では、「おもてなしの心」で来館者に日本的な良さを感じていただくとともに、バリアフリーサービス、安全管理についても最善の対策を講じる。
- 建築、展示等各事業区分において環境への配慮を織り込むとともに、このような日本館の 環境配慮についての取り組みをPRする。
- 収支見通しについては、日本の出展にあたり共通の土台となるパビリオン建設費や事務 局運営費は、主に政府予算での確保に努め、さらに、企業等からの資金や技術面の協力 を得ながら、展示や行催事の内容充実を図ってゆく。
- 官民一体での出展という過去に例のない手法であるが、開幕まで残された時間が約2年ということを鑑みると、準備作業をこれまで以上にスピードアップする必要があるという意見が多数出され、各分野とも準備のスピードを上げるよう努力することになった。
- 協賛企業との連携について、より具体的な意見交換を早急に進めていくことが必要との意 見も多く出された。

<今後の出展準備の進め方について>

- 基本計画策定専門委員のうち、彦坂 裕氏(建築)、平野 暁臣氏(展示)、牧村 真史氏 (行催事、広報、運営)をプロデューサーとし、澁谷 美樹氏は各部門を補佐するディレクタ ーとするチームを構成する。
- 建築は設計・監理業務を落札した㈱日本設計と業務を進め、2009年から建築工事を開始 予定。展示、行催事、広報、サイバーパビリオンは委託先を選定し、設計もしくは実施計 画を詰める作業を行うが、行催事は自治体をはじめ様々な主体の行催事を取り込んでい くため、先行して募集を行う予定。運営については、建築、展示の計画がある程度見えて きた時点で計画を作成。

<上海国際博覧会全般の準備状況について>

- 2008年2月22日現在で196の国・国際機関が参加表明。
- ベストシティ実践区自薦事例の募集は1月末に終了。世界80都市から108の申請があり、 日本からは大阪府・大阪市と堺市が申請。3月20日に選定委員会が上海で開催され、30 ~50の入選事例を選出予定。
- 企業パビリオンは合計 16 館(中国企業を 9 館、外国企業 7 館)を想定。
- 上海博覧会への協賛企業は現在確定している企業が 10 社。ライセンス商品生産管理に ついては上海の企業 2 社が決定済み。